

# 地域福祉をはじめよう

〜さらにつながる・支え合う地域へ〜



平成28年4月  
狭山市



さらにつながる・支え合う地域へ  
これまでの地域、これからの地域



出席者

狭山市長

社会福祉法人狭山市社会福祉協議会会長

狭山市自治会連合会会長

狭山市民生委員・児童委員協議会会長

狭山市社会福祉審議会会長

聞き手

東都医療大学ヒューマンケア学部助教

小谷野 剛

塩野谷 延夫

加藤 利男

奥 富 孝一

田 辺 赳夫

野 村 政子

(順不同、敬称略)

注目を集める

狭山流「地域福祉」

**野村** 今日、小谷野市長をはじめ、地域の第一線で活躍いただいております皆さんとともに、これまでの地域、これからの地域について語り合いたいと思います。

聞き役を務めさせていただきまず、東都医療大学の野村です。一昨年まで行田市役所で保健師として地域福祉に携わっていました。その縁で、昨年からはここ狭山で、市民向けのイベントや市職員向け

の研修に関わっていますが、地域福祉活動者がとても多く、活動が盛んに行われていると思います。こうした力を持った市民が多い狭山は、地域福祉活動の先進的なまちとして、県内外でも注目を集めています。それでは、皆さんの活動を含め、自己紹介をお願いします。

**市長** 市長の小谷野です。地域の皆さんに助けられながら育ってきました。大人となった今、地域のために何かしなければという思いで、市長として日々奮闘しています。

**塩野谷** 社会福祉協議会会長の塩野谷です。社会福祉協議会(社協)職員をはじめ、支部社協の皆さんとともに、地域福祉を積極的に進めています。個人的には、狭山台で子どもが自由に遊べる「プレーパーク」や子ども会育成会の活動に携わっています。

**加藤** 自治会連合会会長の加藤です。自治会をはじめ、地域や市のさまざまな行事を通じて、地域住民のつながりと支え合いを高めるために取り組んでいます。

**奥富** 民生委員・児童委員協

議会会長の奥富です。民生委員活動12年目です。最初は何をやるのか分からず、先輩民生委員の助言に頼っていました。今は、他の民生委員と協調して、日々の活動を進めています。

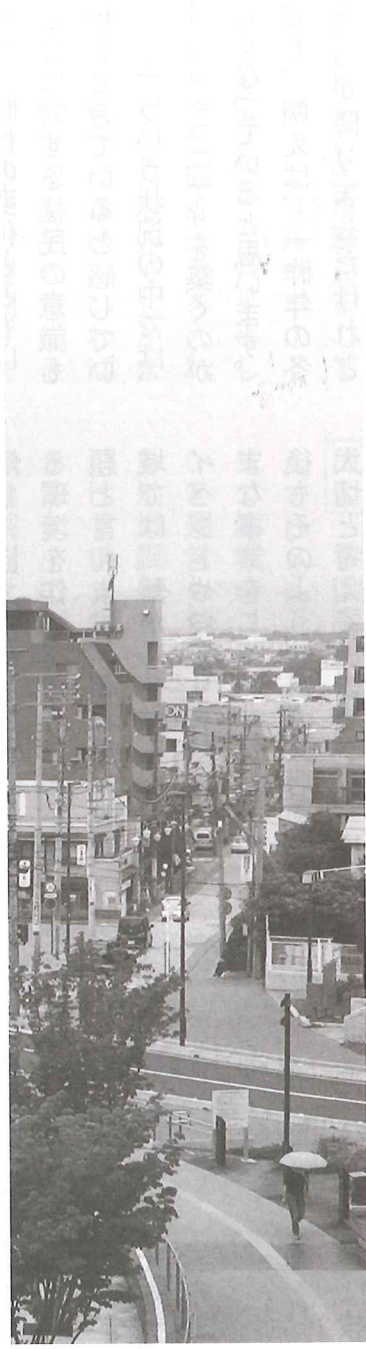
**田辺** 社会福祉審議会会長の田辺です。傾聴ボランティアの養成やコミュニティサロンの活動に携わっています。また、個人的には、狭山台地域づくりを進める会の福祉推進グループに所属しています。地域活動が増えたなあ実感しています。





「これまで」の  
地域のすがた

**野村** はじめに市長に伺います。市長が子どもの頃だった約30年前と現在を比較して、狭山の地域社会とか地域住民の変化などについて感じておられる事があればお話をお願いいたします。



**市長** 小学生の頃は、まだ昭和でしたので、学年に関係なく、みんな一緒に遊んでいました。やがて中学生になると、テレビゲームで遊ぶようになり、友達のお父さんやお母さんと会うことも少なくなってきたのかなと思います。

ところで今の小・中学校の卒業アルバムを見ると、住所と電話番号がありません。ということは、将来、同窓会を開こうと思っても、案内状を出すのに大変な思いをされると思うんです。これまで日本は、地域の輪とか、個人の縁を大切にしながら、コミュニケーションが形づくられてきました。それが今、個人情報保護の前に、地域の結束力みたい



なものがかんたん失われてい  
ると感じています。

**野村** 市長が指摘された地域の輪、個人の縁をはじめとした「地域力」の低下が懸念されていますね。塩野谷さんに伺いますが、地域住民が主体となり、会食会や敬老会の運営など、さまざまな地域福祉活動を実践される社会福祉協議会の会長として、近隣関係

の希薄さや地域力の低下について、どうお考えでしょうか。

**塩野谷** 私が住んでいる奥富地区は、地縁の結びつきが強い地域の一つですが、それでも新興住宅地やアパート等の住民との交流に課題がない訳ではありません。地域の中で、お年寄りが急増するとともに、心身に障害を持つ方も徐々に増えつつあります。支援を必要とする方々を社会的に孤立させず、みんなが互いに顔見知りとなり、思いやる。そうした心配りがあると地域は必ず良くなっていくと信じて、地域住民の皆さんとともに、各種事業を丁寧実践しています。





**野村** 支援を必要とされる方々も地域社会の一員として手を携え、お互いに助け合うことが大切です。自治会連合会の会長にお伺いいたしますが、自治会活動の今昔の差と、自治会活動での課題などがありましたら、お願いいたします。



**加藤** 昔ほどの家庭でも自治会に加入し、地域のさまざまなおイベントを盛り上げてきました。自治会に対する住民の意識も変化してきていると感じています。そういう状況の中では、地域でコミュニティを築くのが難しくなっていると思います。でも、例えば、一昨年の冬に大雪が降りましたけれど

も、ああいう場面においては、誰からともなく、近所の除雪が始まりましたよね。災害時においては、誰もが自ら持つ力を出し合い、「お互いに助け合う」ことが求められます。自治会は、そうしたことも事前に準備しておくことのできる地域力を持った地域社会の要と考えています。

現在、世帯ベースの自治会加入率は約73%で、年々減少傾向にあります。将来起こりうる災害に向けて、私たちは自治会活動の中で、被害を最小限にするため、きちんと備えていく必要があると思っています。

そのためにも、地域の「絆」をしつかり結び、お互いを理解し、協力しあうことが出来る環境を作っていくことが課題と言えます。それぞれの地域では、繋がりを作るためにイベントやお祭りなどさまざまな事業をしています。今後そのような日頃の活動が大切と考えています。

**野村** 災害時には、お互いの顔を知っている近隣住民同士の助け合いがとても重要です。地域の要となる存在の一つに「民生委員・児童委員」があります。民生委員・児童委員協議会の会長にお伺いいたしますが、民生委員・児童委員の役割と、民生委員活動をしていて感じることはありませんでしたら、お願いいたします。



**奥富** 私は、平成19年から民生委員・児童委員として「身近な福祉の相談相手」として、厚生労働大臣の委嘱を受け、ボランティア活動を続けてきました。「民生委員」というと、何か困りごとを一手に引き受け、年中多忙な存在、というイメージを持つ方もおられますが、実際は、地域住民の困りごとなどを市役所や地域包括支援センターなどの相談支援機関につないだり、見守り活動等が中心です。

民生委員活動をしていて感じることは、公的な福祉サービスに該当しない、または該

当するのに申請することができない方が増えているということです。例えば、要介護認定の要件に適合できなかった方々や認知症の自覚がない方々などが挙げられます。こうしたケースの場合は、当事者だけの解決は困難であり、行政と地域が一体となつて当事者世帯を支援していくことが強く求められます。

狭山市では「トータルサポート体制」といって、支援を必要とする世帯を総合的に支援するしくみが試験的に導入されており、民生委員として、このしくみの本格的実施を待ち望んでおります。





**野村** 私も行田市職員をして  
いたときにトータルサポート  
体制の担当をしておりました。  
これは、福祉に力を入れて  
いる一部の自治体でしかま  
だ実践されていない、いわば  
先進的な取り組みでした。そ  
の意義は、市役所の縦割りを  
解消することにあります。縦  
割りを解消することで、奥富  
さんがご指摘されたような、  
行政と地域が一体となって当  
事者世帯を支援する仕事がし  
やすくなります。日頃の地域  
活動との関係からみたトータ  
ルサポート体制の意義や必要  
性について、社会福祉審議会  
の会長は、どうお考えでしょ  
うか。

**田辺** 私は高齢化が一気に進  
んでいる狭山台に住んでお  
り、地域のコミュニティサロ  
ンを運営しつつ、高齢化によ  
る地域課題をどう解決に結び  
つけていくか、地域包括支援  
センターの職員をはじめ、他  
の地域福祉活動者の皆さんと  
議論しています。持ち込まれ  
る事例は実にさまざまで、そ  
の答えに正解みたいなものは  
ありません。ただし、地域課  
題を地域に住む者としてきち  
んと受け止め、共有し、解決  
に向けて議論する。この姿勢  
こそ、大事なんじゃないかと  
思っています。

行政においては、トータル  
サポート体制が試行的に進め  
られており、地域としては大  
歓迎です。これからの福祉行  
政は、「これはできない」だ  
けでなく、「これはできない  
ので、みんなで話し合い、役  
割分担する」ことがとても大  
切です。市長さん、支援が必  
要な世帯の総合的な支援のし  
くみが成功されますよう、期



待っています。

**求められる  
「これから」の地域**

**野村** 皆さん、ありがとうございます  
ございます。私も行田市職員  
のときに、トータルサポート体  
制を構築した一人として、生  
み・育ての苦しみを経験しま  
したが、それ以上に喜びが大  
きかったです。市民の大事な  
生活を守るしくみとして必要  
不可欠なシステムであるト  
ータルサポート体制が地域住民  
とともに発展していくことを  
期待しています。

それでは、地域社会の「こ  
れから」について伺いた  
します。はじめに自治会連合  
会の加藤会長、市民の皆さん



へのメッセージを含め、コメ  
ントをお願いいたします。

**加藤** 自治会連合会は、市と  
ともに災害時要援護者支援事  
業を推進しています。また、  
毎年市民相互の親睦を深め、  
市民の健康増進と元気なまち  
づくりを目的に実施している  
「狭山茶の里ウォーキング」  
も多くの市民の参加を得て、  
好評をいただいております。  
こうした活動を通して、これ  
からも「自分たちの住むまち  
は、自分たちで守る」を合言  
葉に、地域福祉、地域防災に  
取り組んでまいります。

今後、自治会活動へのこ  
理解とご協力をよろしくお願  
いいたします。



**野村** 民生委員・児童委員協議会の奥富会長よりコメントをお願いいたします。

**奥富** 民生委員の任期は3年で、今年の11月30日に活動期間が終了し、続ける方、お辞めになる方が出てきます。地域では、お辞めになる方の後任候補者の選出が始まっていますので、ぜひご理解とご協力をお願いいたします。

民生委員・児童委員制度は、来年5月に制度創設100年の大きな節目を迎えます。次の100年も身近な福祉の相談相手として絶やさぬよう、皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。



**野村** 社会福祉審議会の田辺会長よりコメントをお願いいたします。



**田辺** 主に、地域の高齢者が社会的に引きこもらず、地域住民と交流できるよう、おしゃべりや軽食等が楽しめる「コミュニティサロン」が市内に約60あります。これらの活動は、地域住民が地域課題の解決を図るために始めた自主的活動です。介護保険制度が改正された中、こうした自主的活動に今、注目が集まっています。他に、地域活動の中で気になることは、活動が高齢者中心のためか、子育てや学童等の地域課題が見えてきません。狭山台地域づくりを進める会では、昨年度から小・中学校

PTA役員経験者を中心に、そのネットワークを生かしながら子育てや学童等の課題に取り組み始めました。住民の大半が高齢者という地域で、子育てを行う若い世帯との「顔の見える関係づくり」が徐々に深まってきました。今後もコミュニティサロンが小地域における「住民の笑顔の交差点」となるよう、住民をはじめ、地域福祉活動者の皆さんのご協力を願います。

**野村** 社協の塩野谷会長よりコメントをお願いいたします。

**塩野谷** これからの地域を支え合っていくには、地域の皆さんの手助けが必要です。地域で何を手助けしたら良いかわからない場合は、ぜひ社協



ボランティアセンターにお問い合わせください。手助けは、ほんのちよつとでも結構です。皆さんからのお問い合わせ、お待ちしております。

社協では毎年、自治会を通じて会費（年500円）を集めています。集まったお金は、市内10ある各支部社協の地域福祉活動をはじめ、市内のボランティア活動やサロン活動の推進などに役立てられています。「ふだんのくらしをします。」社協会員会費（地域ふくし支援金）のご協力も併せてお願いいたします。なお、支部社協の活動や今後の取り組みについては、市と協働で策定しました「地域福祉推進計画」の資料編に掲載されていますので、ご覧ください。

また、「コミュニティ・ソーシャル・ワーク」などを活用した日常生活に困難を抱えている方々への支援するしくみ作りにも、引き続き努めてまいりますので、皆さんのご理解ご協力をお願いいたします。





**野村** 最後に小谷野市長、コメントをお願いします。

**市長** 市民の約1割は、いわゆる「団塊の世代」であり、こうした方々が65歳以上の高齢者に移行しました。一般的に、75歳くらいから介護リスクが高まっていくと言われていくことから、団塊世代が75歳となる10年後の2025年に向け、行政としてきちんと方策を立てていく必要があります。

そこで、地域におけるさまざまな福祉的課題の解決を図るための計画「狭山市地域福祉推進計画」を社協とともに策定しました。計画スローガンは「人が人を「さ」さえ、みんなに「や」さしい、元気

な「ま」ち」です。

課題解決は、行政だけでなく、社協も、地域住民も、地域団体も、NPO法人も、お互いにひざを突き合わせ、アイデアを出し合うことが求められます。行政は社協とともに、皆さんの先頭に立ち、こうした取り組みの旗振り役となつて精一杯がんばります。また、トータルサポート体制も、検証結果を踏まえ、適切に対応してまいります。

最後に、市民の皆さんにお願いですが、地域で支え合うことは容易ではありません。既にご近所の中で関係性に苦慮されておられる方も少なくないかと思えます。そうしたときは、2・3軒先の、「自治会であろうところの「班レベル」で交流し、支え合うのも方法かと思えます。地域での困りごとは10年後には、今と比較にならないくらい、増えているかもしれない。そこに向けて、今からどう備えていくか。今が正念場です。地域で

の支え合いについて、皆さんのご理解とご協力を心よりお願いいたします。

**野村** これからの狭山市の発展のために、皆さんの地域福祉活動がますます重要になるということをあらためて感じましたね。行政と社協、そして住民やさまざまな活動主体が、協力し合つて地域のつながりを再構築していくことが大切です。

今年度、狭山市の地域福祉の事業に関わつてみて、地域福祉に関心が高く、取り組み意欲と力を持つ素晴らしい方が数多くいらっしゃると感じています。今後の狭山市の取り組みに大きな期待を寄せています。本日は、大変有意義な話し合いになりました。参加の皆さん、どうもありがとうございました。



狭山市地域福祉  
推進計画の策定

狭山市（以下「市」という。）と狭山市社会福祉協議会（以下「社協」という。）は、平成27年3月に「狭山市地域福祉推進計画」を策定しました。計画は平成27年度から平成32年度までの6か年計画で、市や社協の取り組みだけではなく、地域住民や地域福祉活動団体との協働による取り組みを定めています。

計画は「人が人を『さ』さ

え、みんなに『や』さしい、元気な『ま』ち」を基本理念に、3つの基本目標の達成を目指して、3章9節で構成されています。

また、計画を着実に進めるための進行管理機関として、地域住民・地域福祉活動団体・知識経験者で構成する狭山市地域福祉推進市民会議を設置しています。

なお、計画書については、社協のホームページに掲載中です。ご覧ください。

# ご挨拶

狭山市地域福祉推進市民会議  
会長 諏訪 徹



今狭山では、サロン活動、見守りや訪問、生活支援、移送サービス、子育て支援など、市民の自発的な福祉活動がどんどん生まれています。また活動する団体同士のネットワークも広がってきています。5年くらいの中に、もともとあった市民力が花開き、つながっている。そんな感じです。

地域福祉計画は、より暮らしやすいまちづくりに向けた市民の福祉活動を応援し、横につなぎ、より活性化を図るとともに、くらしの問題の解決に取り組むための市民、専門機関、行政の協働の取り組みを進めるためのものです。

狭山の地域福祉の取り組みをぜひ知っていただき、より多くの方々が地域福祉に関心をもち、地域活動、仲間づくりに一歩踏み出してください。願います。

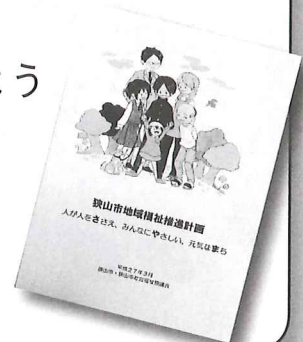
【図】狭山市地域福祉推進計画の構成

## 基本理念

人が人を「さ」さえ、  
みんなに「や」さしい、  
元気な「ま」ち

## 基本目標

- ①地域住民相互の  
つながりを深めよう
- ②地域住民の  
幸せを高めよう
- ③地域福祉活動の  
輪を広げよう





市や社協による  
地域福祉の主な取り組み

計画書に掲載している市や社協による地域福祉の主な取り組みを3つの基本目標ごとに紹介します。

(1) 地域住民相互の

つながりを深めよう

【市】

● 自助や福祉等に関する意識啓発を行うためのシンポジウムやパネル展などを開催し、地域福祉の推進を図ります。



▲ 大雪をテーマにしたシンポジウム

● 地区福祉講座や傾聴ボランティア養成講座などの開催をし、福祉人材の育成に努めます。

【社協】

● 災害ボランティアセンター運営スタッフの育成や福祉教育等のメニュー開拓を行い、新たな福祉ニーズへの対応を図ります。

(2) 地域住民の

幸せを高めよう

【市】

● 要援護世帯総合支援体制の推進や福祉コミュニケーションサーバーの活用により、要援護世帯へ市の健康福祉部門が連携して支援できるように努めます。

【社協】

● 生活困難者への総合相談体制の整備を図ることで、経済的困窮や日常生活に困難さを抱えた世帯に対する相談への対応をしていきます。また、制度の狭間にあ



▲ 講義とグループワークを中心とした地域福祉活動推進研究会

る世帯への支援に向けた体制整備を検討していきます。

(3) 地域福祉活動の

輪を広げよう

【市】

● 地域福祉活動者の学びと交流の促進を目的とした地域福祉活動推進研究会を開催していきます。

● 見守り、孤立予防、生活支援サービス等の活動を行う新たな地域福祉活動団体の設置促進を図ります。

【社協】

● ふれあいサロンを含むコミュニティサロンや有償福祉サービスを行う団体のネットワーク化を図ります。

● 支部社協による地域福祉活動計画の推進を図ります。また、支部社協圏域で、地域における福祉課題を共有し、解決に向けた話し合いを行う地域福祉懇談会（地域福祉意見交換会）を開催します。

地域福祉の主役は  
地域住民一人一人です

社会環境の変化、社会的孤立などにより、地域福祉課題は増加・多様化しています。住み慣れた地域で誰もが安心して生活するためには、地域住民一人一人ができることを考えることが大切です。



# ン活動の一部紹介

## 参加者の声

- ♪前日に声をかけてくれるので、忘れずに来られる。  
(90 歳代 女性)
- ♪手料理のお弁当を食べながら話  
ができていいよね。  
(80 歳代 男性)
- ♪散歩代わりに来ている。体を動  
かして脳トレになる。  
(80 歳代 女性)
- ♪大きな声で話ができうれしい。  
(70 歳代 女性)
- ♪近所に知り合いが増えて安心で  
きる。  
(70 歳代 女性)

## 主催者の声

瀬谷ヒサ子さん  
(笹井ふれあいの会)



4年前に高齢者  
と子育ての孤立予  
防、認知症や虐待  
から守るためサロ  
ンを始めました。地域の方々サ  
ロンで知り合いになって助け合  
う姿や、子育て中のお母さんがマ  
友を作り子育てに自信をつけてい  
く様子を見るとサロンを作ってよ  
かったと思います。

## サロンに関するご相談、お問合せは 狭山市社会福祉協議会へ

狭山市社会福祉協議会では、ここに紹介しているサ  
ロンの他に「ふれあいサロン」として登録しているサ  
ロンと、市内でネットワークを組んでいるコミュニ  
ティサロンの情報を一覧にしてホームページに掲載して  
います。どうぞ、ご覧ください。

### 狭山市社会福祉協議会

電話 04-2954-0294

ホームページ

<http://www.sayama-shakyou.or.jp/>

## 体を動かす健康志向サロン

### まちじゅう健幸サロン レインボークラブ

活動日 第4月曜日  
時間 10:00~12:00  
場所 富士見集会所  
参加費 無料

筋力をほどよく鍛えるスト  
レッチ体操で脳を活性化し、  
楽しく健康寿命を延ばしま  
しょう。



## 個人宅で開くサロン

### たまり場 せきれい亭

活動日 火曜日  
時間 10:00~13:00  
場所 たまり場せきれい亭  
参加費 100 円

自宅なので道具類の移動な  
し、空き部屋はリサイクルマ  
ーケット会場に活用。内容は  
週替わりで歌、手芸、歴史学  
習を楽しんでいます。



## 介護する方がホッとできる

### 介護者リフレッシュサロン

活動日 第1月曜日  
時間 13:00~15:00  
場所 狭山元気プラザ  
参加費 100 円

介護している不安やストレス  
を、話してリフレッシュしま  
しょう。  
介護されている方でなく  
ても、どなたでも、お気軽にど  
うぞ!



## 毎日の楽しみサロン

### ささえ愛つつじ野 コミュニティサロン

活動日 毎日(祝日除く)  
時間 9:00~17:00  
場所 ささえ愛つつじ野  
コミュニティサロン  
参加費 内容により異なります。

つつじ野団地の助け合い活動  
のひとつ。歌声、料理、マー  
ジャンや手芸などメニューは  
たくさんあります。



## 認知症の方と家族がくつろぐ場

### オレンジカフェ

活動日 第3金曜日  
時間 10:00~12:00  
場所 中央公民館  
参加費 100 円

(このほかにも市に登録した  
オレンジカフェがあります。)  
認知症の方と家族が安心して過  
ごすことができ、お茶をしながら  
情報交換や相談ができる場  
です。関心のある方はどなたでも  
参加できます。





# コミュニティサロン

## 狭山市内に 100 以上

コミュニティサロンは、地域住民が主体となって運営される地域の方の居場所です。自分の住む地域で「気軽に」「楽しく」「無理なく」「多様な形態で」「自由に」開催されています。健康増進を目的としたサロンや認知症対応のオレンジカフェなどテーマによるサロンをはじめ、高齢者や子育て中の親子など対象者を特定したサロン、食事提供による交流を目的としたサロンなど市内には 100 を超えるサロンが開催されています。

ここでは、その中の一部をご紹介します。

## サロンは地域の社会資源

サロンに参加した方から、楽しみにしている、知り合いが増えてうれしい等の声があるとともに、ボランティアスタッフの方からも近所の顔見知りが増えて見守りの幅が広がった、自分が元気をもらっている、張り合いになっている等の声が多く出ています。サロンがみんなの元気に役立っています。

狭山市では、市内のサロンがネットワークを組んで、情報交換や勉強会をする機会が増えています。そこではサロンをより楽しく開催したい、スタッフを増やしたい、高齢化や子育てに関することを相談したいなどの課題が出され、多方面から情報を出し合い、自分たちのサロン活動に反映しています。

コミュニティサロンは、地域の方が地域のことを考えて集う大切な社会資源となっています。

## 社会福祉協議会の取り組み

狭山市社会福祉協議会では、地域のサロン活動の把握やサロン同士、サロンと住民、関係機関とのつながりを作るために「ふれあいサロン」登録制度をとっており、サロン保険や運営費の助成、サロンの設立や運営の相談支援、研修会や交流会の開催などをおこなっています。

これからサロン活動を始めたい方、お近くのサロンに参加してみたい方、サロンに興味がある方は狭山市社会福祉協議会までお気軽にお問い合わせください。

地域のNPOが主催するふれあいサロン

### コミュニティ・カフェ ココベリ-

活動日 第1・3木曜日  
時間 10:00~16:00  
場所 新狭山ハイツ集会所  
参加費 飲食代

手作りパンなど飲食と交流でふれあいの場を提供。赤ちゃんから高齢者まで、どなたでもお待ちしております。



支部社協主催のサロン

### すずらん北・すずらん南

活動日 北:第1火曜日  
南:第3木曜日  
時間 10:00~14:00  
場所

北:新狭山2丁目自治会館  
南:新狭山1・3丁目自治会館

参加費 200円

地域の方々が昼食を取りながら交流。季節の手料理でおいしかったと喜ばれています。



自治会と民生委員と住民が協力

### にこにこサロン

活動日 第3火曜日  
時間 10:00~12:00  
場所 御狩場自治会集会所  
参加費 100円

自治会が会場設営や広報を担当し、民生委員をはじめ住民ボランティアで準備します。近所で声かけあい集まります。歌や体操、昼食会を楽しみます。



産前産後のママふれあいカフェ

### なないろ「ふれあいカフェ」

活動日 第2・4木曜日  
時間 10:00~11:30  
場所 狭山元気プラザ  
お茶代 100円

ママ同士、お茶や季節のお菓子で、ゆっくりおしゃべりを楽しめます。読み聞かせや誕生日会、季節行事などもおこないます。



商店街の空き店舗を利用したサロン

### カフェいるまおい

活動日 第4金曜日  
時間 10:00~15:00  
場所 たまり場ショップ  
「いるまおい」

参加費 150円

商店街が空き店舗を貸し出し、ボランティアが活用。誰でも気軽に利用できるカフェ。傾聴ボランティアが常駐してお話し相手になります。







▲ 民生委員による赤ちゃん訪問

地域活動やボランティア活動に参加しよう

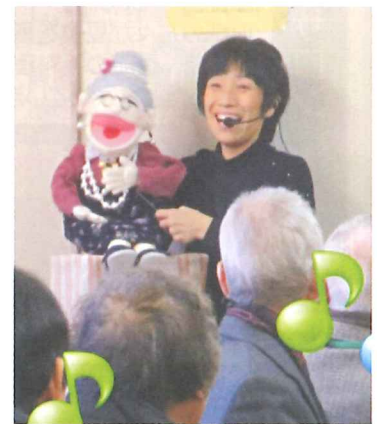
自治会、民生委員・児童委員協議会、支部社協をはじめとした地域福祉活動団体やボランティアは、皆さんの身近なところで活躍しています。地域で課題になっていることは、その地域に住む人たちが一番良く把握をしています。だからこそ、地域住民一人一人ができることを考え、実行していくことが今、求められています。

【地域活動やボランティア活動に関する主な問い合わせ先】

活動内容	問い合わせ先	
自治会に関すること	市役所 協働自治推進課	☎ 04-2953-1111
民生委員・児童委員協議会に関すること	市役所 福祉課 (地域福祉担当)	(同 上)
支部社協に関すること	社会福祉協議会	☎ 04-2954-0294
有償福祉サービスに関すること	社会福祉協議会 ささえあい狭山	☎ 04-2003-3843
ボランティアに関すること	社会福祉協議会 ボランティアセンター	☎ 04-2954-0294
コミュニティサロンに関すること	社会福祉協議会	(同 上)

※有償福祉サービス（住民参加型在宅福祉サービス）とは、「自分たちの住むまちを自分たちの手で住み続けられるようにしたい!」という住民の思いを形にした住民自身による地域福祉活動で、有償での生活支援サービスなどを行っています。

地域活動やボランティア活動に参加をし、狭山市が皆さんにとって安心して住みやすいまちとなるよう、皆さんの力を発揮してみませんか。



▲ 特技を活かしたボランティア活動（腹話術）

狭山市地域ポータルサイト「さやマルシェ」にある「ふれあいネット」([http://sayama-portal.jp/sayama\\_fukushi/](http://sayama-portal.jp/sayama_fukushi/))では、狭山市内の自治会館や公園等で活動している地域福祉活動団体・事業者、地域コミュニティ団体等に関する情報をご案内しています。

- 【発行日】平成28年3月31日
- 【発行】狭山市福祉こども部 福祉課（地域福祉担当）  
☎ 04-2953-1111（内線1010）
- 【協力】社会福祉法人 狭山市社会福祉協議会

